

公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	令和7年度 第2回安曇野市公民館運営審議会
2 日時	令和7年9月2日 午前10時から11時30分
3 会場	安曇野市役所 会議室301
4 出席者	羽重暁雄委員長、高橋清美副委員長、安藤登志子委員、中澤宏晃委員、望月芳雄委員、大内善司委員、鈴木敏雄委員、神谷哲彦委員、青柳等委員、一志みゆき委員、青木美穂委員、望月みどり委員
5 市側出席者	財津中央公民長（生涯学習課長）、臼井豊科公民館長、早川穂高公民館長、藤松三郷公民館長、山田堀金公民館長、安井明科公民館長 生涯学習課社会教育係 大蔵・宮下
6 公開・非公開の別	公開
7 傍聴人	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年10月17日

協議事項等

会議の概要

- 1 開会 高橋副委員長
- 2 あいさつ 羽重委員長
- 3 協議事項
 - (1) 令和7年度安曇野市公民館重点項目の進捗状況について
 - (2) 令和8年度生涯学習課事業方針(案)について
- 4 その他
 - (1) 第3回安曇野市公民館運営審議会について
- 5 閉会 高橋副会長

協議概要

- (1) 令和7年度安曇野市公民館重点項目の進捗状況について
 - ・各公民館長から、資料に基づいて説明

【委員】

資料の構成について提案する。

ナンバー・部署・課題の順とし、計画作成・達成スケジュールがあればすっきりする。QC手法で行うならば、問題の洗い出し、現状把握、目標設定、解決策、改善効果との流れとなる。

【事務局】

来年度予算に向けた目標等もあり、期間を明確にできない箇所もあるが、順序等検討する。

【委員】

キャッシュレス化推進の目標があるが、考えを伺いたい。

【事務局】

利用者の利便性の向上を推進するもの。システム導入コストや関係部局との調整により検討したい。

【委員】

システムは決済のみを想定しているか。

【事務局】

インターネット予約も検討している。現在、公民館・体育施設・文化施

設で運営方法が異なるため、協議を進めたい。

【委員】

システム発注は市内業者か、市外業者か。それとも職員が制作するのか。また、現状はどのように運営しているか。

【事務局】

庁内システムを統括する行革デジタル推進課とも協議するが、システムは業者からの導入となり、市内に該当業者はない。コストも課題となるので、財政・契約部署とも協議して選定する。

【事務局】

現在は、紙に申請内容を記載いただき、施設管理システムに職員が入力している。

【委員】

穂高納涼祭について、経費はどのように確保したか。

また、来場者・出演者等で約5,000人は十分な数字と思う。

【事務局】

市の補助金のほか、協賛金を各社から頂戴し、約300万円。

参加者については、踊り連の増加や商工会の参加などを目指す。

【委員】

公民館長から「当事者意識」との発言もあった。青少年の育成などにおいては、地域の人が当事者意識を持つ必要がある。生涯学習のテーマとして取り組んで欲しい。

(2) 令和8年度生涯学習課事業方針(案)について

- ・資料を基に説明

【委員】

各種サークルが、高齢化等で存続が難しい。生涯学習団体サークルの連絡協議会ができるとよい。

【事務局】

サークルが意見を出し合える場について検討する。

また、新たなサークル立ち上げを行いたい。

【委員】

交流学習センター・図書館・スポーツ・社協の各種団体との住み分けと連携が必要

その他

- ・事務局から、今後の事業予定を説明